

2026年2月6日

各 位

第63回愛媛マラソンの経済効果はおよそ5億50百万円

株式会社いよぎん地域経済研究センター（略称 I R C、社長 矢野 一成）では、2月1日に開催された「第63回愛媛マラソン」の県内における経済効果を算出いたしました。概要は以下のとおりです。

1. 推計結果

(1) 経済効果

経済効果			事業費に対する 経済効果	出走者数
	直接効果※1	間接効果※2		
5億50百万円	3億59百万円	1億91百万円	2.57倍	11,131人

「第63回愛媛マラソン」の経済効果は、5億50百万円となりました。これは、主催者事業費の2.57倍の効果であります。

※1 直接効果…主催者事業費+選手・観客による消費額

(県外からの財やサービスの調達が見込まれる分は除く)

※2 間接効果…直接効果によって県内の各産業にもたらされる生産誘発額+選手・観客による消費の増加や生産誘発によって生じる雇用者所得の增加分が、新たな消費に向けられることによって県内産業にもたらされる生産誘発額

2. 推計方法

- (1) 主催者事業費は、事務局資料より約2億14百万円としました。
- (2) 出走者数は11,131人で、当日の観客は、沿道とスタート・ゴール会場を合わせて約18万人と推計しました。
- (3) 参加選手・観客の消費額は、交通費・宿泊費・観光費に加え、ウェアなどの用品・用具類等の消費額で合計約5億11百万円と推計しました。
- (4) 主催者事業費と参加選手・観客の消費額をもとに、「平成27年愛媛県産業連関表」を用いて経済効果を算出しました。

【本件に関するお問い合わせ】 株式会社いよぎん地域経済研究センター

担当：富永 TEL (080) 2990-1206